

内柴正人選手

柔

北京オリンピックへ

―試合で負けたときやくじけそうになったときはどうしていますか。―
くじけません！負けたことは変わらない。だから次に進むだけです。

―北京出場の意欲が高まったのはいつごろですか。―
今年に入って予選があと2つとなったとき、オリンピックに出場できてもできなくてもチャレンジすることの意味があると思い、そのときに強く意識しました。

―オリンピックへの意気込みをお聞かせください。―
最高の舞台に立ててとても幸せです。この気持ちを一生の思い出にするために何が何でも優勝したいと強く思っています。

―アテネ後、スランプがあったという内柴選手。スランプから抜け出すきっかけとは何だったのでしょうか。―
やめるのは自由なのでそうする選択もあります。だけど、もう一度チャンピオンになりたいという思いがずっとありました。次に必ず勝てると思っていて柔道に打ち込みました。

独占！
オリンピック直前インタビュー

―お子さんがいらっしゃいますが、オリンピック出場を通して伝えたいことはありますか。―
自分の中では、柔道＝仕事という思いが強くなります。「お父さんは仕事で最高の舞台に立てたよ」と伝えたいです。

―内柴選手のように強くなりたい！と思っている子どもたちもたくさんいると思います。何かアドバイスがありますか。―
一つのことを始めたらやめないこと！やめなかったら必ず何かにつながります。

一つの道をきわめた内柴選手だからこそ言える重みのある言葉に子どもたちも心を動かされ、思いを新たにしようです。

最後に内柴選手から「柔道をしている皆さんも柔道をしていない皆さんも何か一つ目標をつくって頑張ってください」とメッセージがあり、声援を送る側も元気をもらうことができた壮行会となりました。



南ヶ丘小時代の恩師、島崎先生の言葉に思わず涙

―最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします。―
ただいま！久しぶりに帰ってきました。故郷に帰ってきてまた北京への思いが強くなりました。応援よろしくお願いします！

北京オリンピックは、8月8日から24日まで世界205の国と地域が参加して行なわれます。

内柴選手が出場する柔道男子66kg級の試合は、8月10日(日)に行なわれる予定です。さわやかな笑顔が印象的な努力の人、内柴選手をみんなが応援しましょう！



壮行会后、子どもたちと握手を交わす内柴選手
子どもたちもうれしそう

アテネオリンピック金メダリスト
内柴正人選手

北京オリンピックへ

アテネオリンピック柔道男子66kg級金メダリストの内柴正人選手(武蔵野台区出身)。4月の柔道アジア選手権で5位に入賞し、北京オリンピックへの出場を決めました。

今回は前回に引き続き2度目の出場。そんな内柴選手をみんなで応援しよう！と7月6日、壮行会が行なわれました。強化合宿終了後の忙しい合間をぬってヴィーブルに本人が登場。市民とふれあいのひとときを過ごしました。会の途中、恩師や同級生から心のこもった温かい激励の言葉をかけられると、内柴選手が涙をぬぐう場面も…。内柴選手の幼少時代や中学時代、柔道に懸命に打ち込んだエピソードに会場を訪れた人も胸を熱くしました。

また、小中学生からの質問コーナーでは、「小さい選手が大きい選手に勝つにはどうしたらいいですか？」などの質問が寄せられ、「あきらめないことが大切！」と笑顔で一人ひとりに対して丁寧に答えた内柴選手。

